

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター だより

第211号 2021年12月号



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



コハクチョウがやってきました。

11月14日(日) 午前10時頃、鶴ヶ池にコハクチョウ6羽がやってきました。去年より3週間ほど早い飛来です。そのうち2羽は成鳥、4羽が幼鳥で6羽は親子だと思われます。やってきた当日は長旅で疲れていたのか、長い時間寝ているようでした。

コハクチョウは、越冬するために遠くシベリアから日本へやってきました。昨年は、一旦いなくなったものの、再飛来し、1月中旬まで姿を見ることができました。

幼鳥の体の色は、成鳥と比べると、灰色でクチバシ全体の色が黒っぽいです。今後、成長するにつれ体の色やクチバシの色が変わり、北に帰る頃には成鳥と同じ姿になっていることでしょう。それまで皆さんには、優しく見守っていただけるとお願いいたします。

去年(11月26日)は、オオハクチョウもやってきました。今年も見られると嬉しいですね。



泳ぐコハクチョウ
先頭を親鳥が泳ぎ、幼鳥がそれに続き、最後尾をもう一頭の親鳥が務めることが多いです。親が子どもを守っていることが分かります。



11月14日午後1時ごろ
長旅で疲れたのか、しばらく寝ていました。



成鳥と幼鳥
幼鳥は羽毛が灰色、クチバシは全体が黒っぽい。



餌をついばむ
コウホネの地下茎あたりを食べていました。



飛ぶ直前
翼を広げ水面を激しくけつて助走すると体が浮きます



飛ぶ姿
飛ぶときも親鳥が先頭を務めることが多いです。



オオハクチョウ
クチバシの黄色の部分がおおハクチョウより大きい。

かいさい

「アメリカザリガニ勉強会」を開催しました。

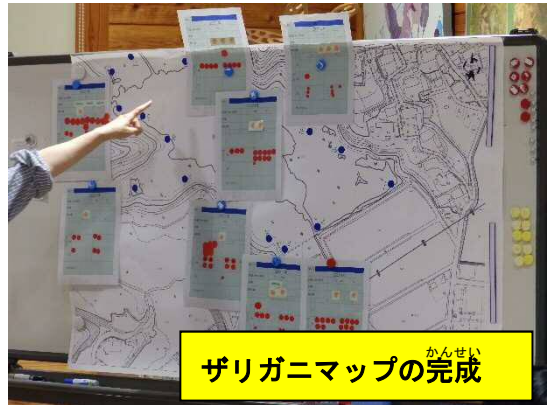
10月31日(日)の「ビジターセンター行事」では参加者11人が、11月14日(日)の「おげや自然塾」では塾生17人が、アメリカザリガニについて学びました。

勉強会では、講師の保崎有香さんからザリガニの種類や特長、桶ヶ谷沼とザリガニとの関わり、活動内容などについての説明を受けた後、採集や調査などの活動を始めました。

センター行事のアメリカザリガニは、講師が事前に捕獲したものを教材としました。自然塾では、桶ヶ谷沼に事前に仕掛けていた罠を塾生たちが引き上げ、そこで捕獲できたものを教材としました。

講師の指導・助言のもと、まずはオス・メスを選別し、次にノギスを使って大きさの調査(甲長、L:30mm以上、M:15mm~30mm未満、S:15mm未満)をしました。この結果を集計表に赤い円形シールで表示し、集計表を桶ヶ谷沼の地図に貼り、ザリガニマップを完成させ、桶ヶ谷沼に棲むアメリカザリガニの傾向を表示しました。参加者は、アメリカザリガニのハサミに指を挟まれそうになりながらも楽しそうに調査活動をしていました。

現在、アメリカザリガニは過去のような大発生はしてはいないものの、トンボの天敵であるため、今後も地道に調査活動を行っていきます。



センター行事のお知らせ

やちょうかんさつかい ○「野鳥観察会」

- ☆ 日時 1月16日(日) 9:30~11:30
- ☆ 場所 桶ヶ谷沼ビジターセンター、桶ヶ谷沼
- ☆ 対象 一般(小学生は保護者同伴で、未就学児の参加・見学はご遠慮ください)
- ☆ 定員 20人 先着順
- ☆ 内容 桶ヶ谷沼にいる野鳥の説明を受けた後、桶ヶ谷沼に出かけマガモなどの水鳥や野鳥の観察を行います。(小雨の場合は行います)
*雨天はセンター内での野鳥や桶ヶ谷沼の自然に関する学習となります
- ☆ 服装・持ち物 マスク着用、長そで・長ズボンで野外観察ができる服装、軍手(または手袋)、双眼鏡(ある人)
- ☆ 備考 新型コロナウイルスの感染状況・天候によっては中止になることがあります。
- * この次は2月13日(日)午後1時30分~3時30分「冬のヤゴ観察会」です。
- * 申し込みは直接、電話またはファックスでビジターセンターへ